第7回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会
平成26年3月13日

保健所等におけるHIV検査体制

慶應義塾大学医学部
微生物学・免疫学教室
加藤真吾

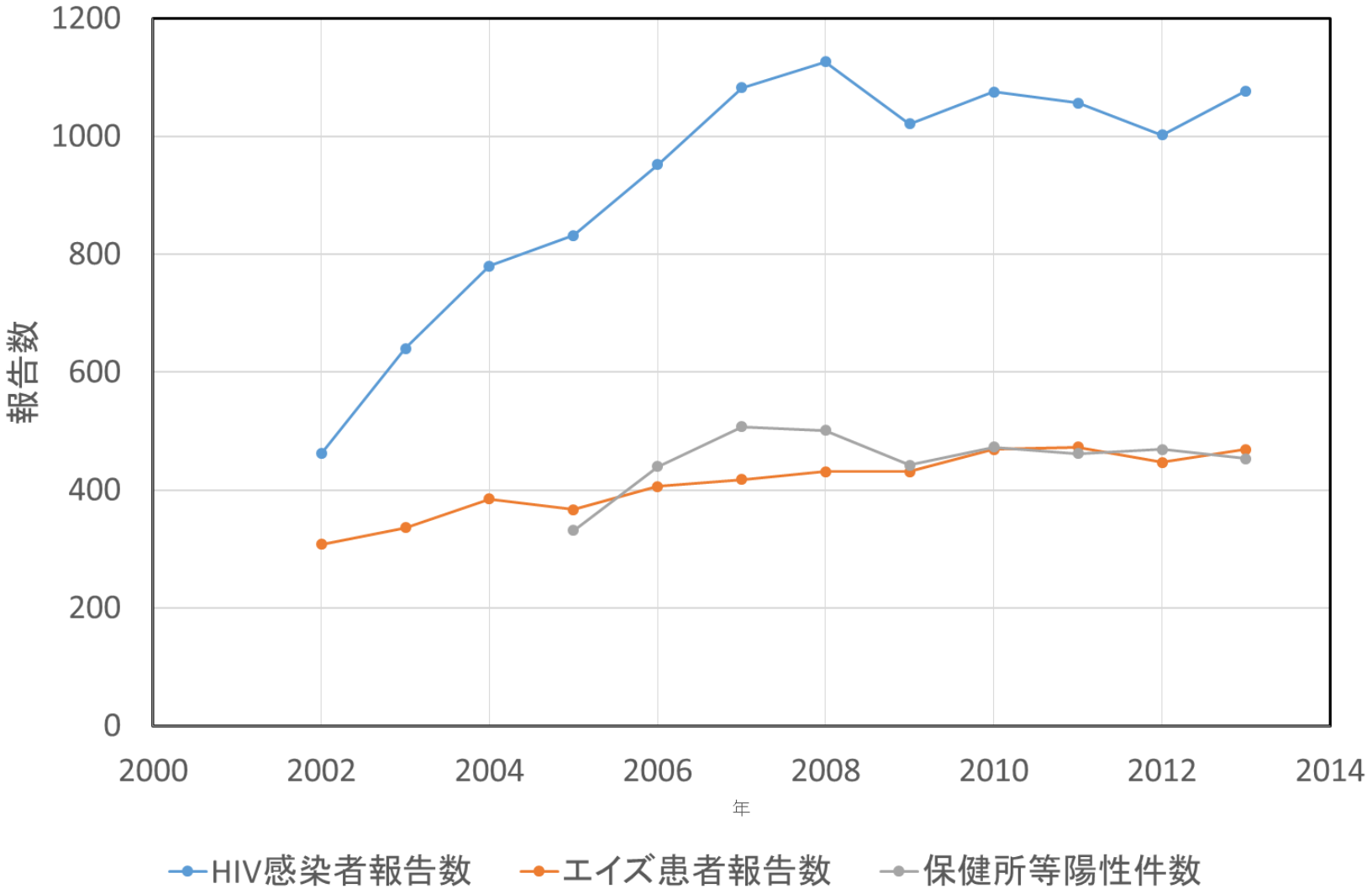
都道府県における直営HIV検査施設数及び委託検査施設

都道府県	保健所数	HIV検査保健所及び支所数	特設検査施設数	特設検査施設
北海道	30	39	1	HIV検査・相談室サークルさっぽろ
青森県	7	7	0	
岩手県	10	10	0	
宮城県	12	14	1	宮城県歯科医師会館
秋田県	9	12	0	
山形県	4	4	0	
福島県	8	9	0	
新潟県	13	13	1	けんこう広場ROSAぴあ
茨城県	12	12	0	
栃木県	6	7	0	
群馬県	12	12	0	
埼玉県	15	15	2	さいたま市HIV（エイズ）即日検査・相談室 埼玉県HIV即日検査
千葉県	16	17	0	
神奈川県	20	37	6	神奈川県HIV即日検査センター 川崎市検査・相談室 神奈川県予防医学協会中央診療所 横浜AIDS市民活動センター 神奈川県結核予防会中央健康相談所 相模原市保健所 シティ・プラザはしもと
山梨県	4	5	0	
長野県	11	11	0	
静岡県	9	9	0	
東京都	31	35	5	東京都南新宿検査・相談室 東京都多摩地域検査・相談室 東京慈恵会医科大学附属病院 杉並サンサンサイト 中野区保健所HIV（エイズ）即日検査・相談室
富山県	5	9	0	
石川県	5	10	0	
福井県	6	7	0	
岐阜県	8	8	0	
愛知県	31	31	1	栄サンサンサイト検査・相談室
三重県	9	9	0	
滋賀県	7	7	0	
京都府	8	19	1	京都市（財団法人京都工場保健会）
大阪府	18	30	2	chotCASTなんば（大阪検査相談・啓発・支援センター） さかいサンサンサイト（堺市保健所−即日検査会場）
兵庫県	17	26	0	
奈良県	6	6	0	
和歌山県	8	9	0	
鳥取県	3	3	0	
島根県	7	8	0	
岡山県	7	11	0	
広島県	7	17	1	広島県エイズ日曜検査
山口県	8	9	0	
徳島県	6	6	0	
香川県	5	5	0	
愛媛県	7	7	0	
高知県	6	6	0	
福岡県	19	25	0	
佐賀県	5	5	0	
長崎県	10	11	1	ハシモト耳鼻咽喉科医院（長崎県医療政策課）
熊本県	11	11	0	
大分県	7	7	0	
宮崎県	9	9	0	
鹿児島県	14	14	0	
沖縄県	6	6	0	
計	494	599	22	

：重点都道府県

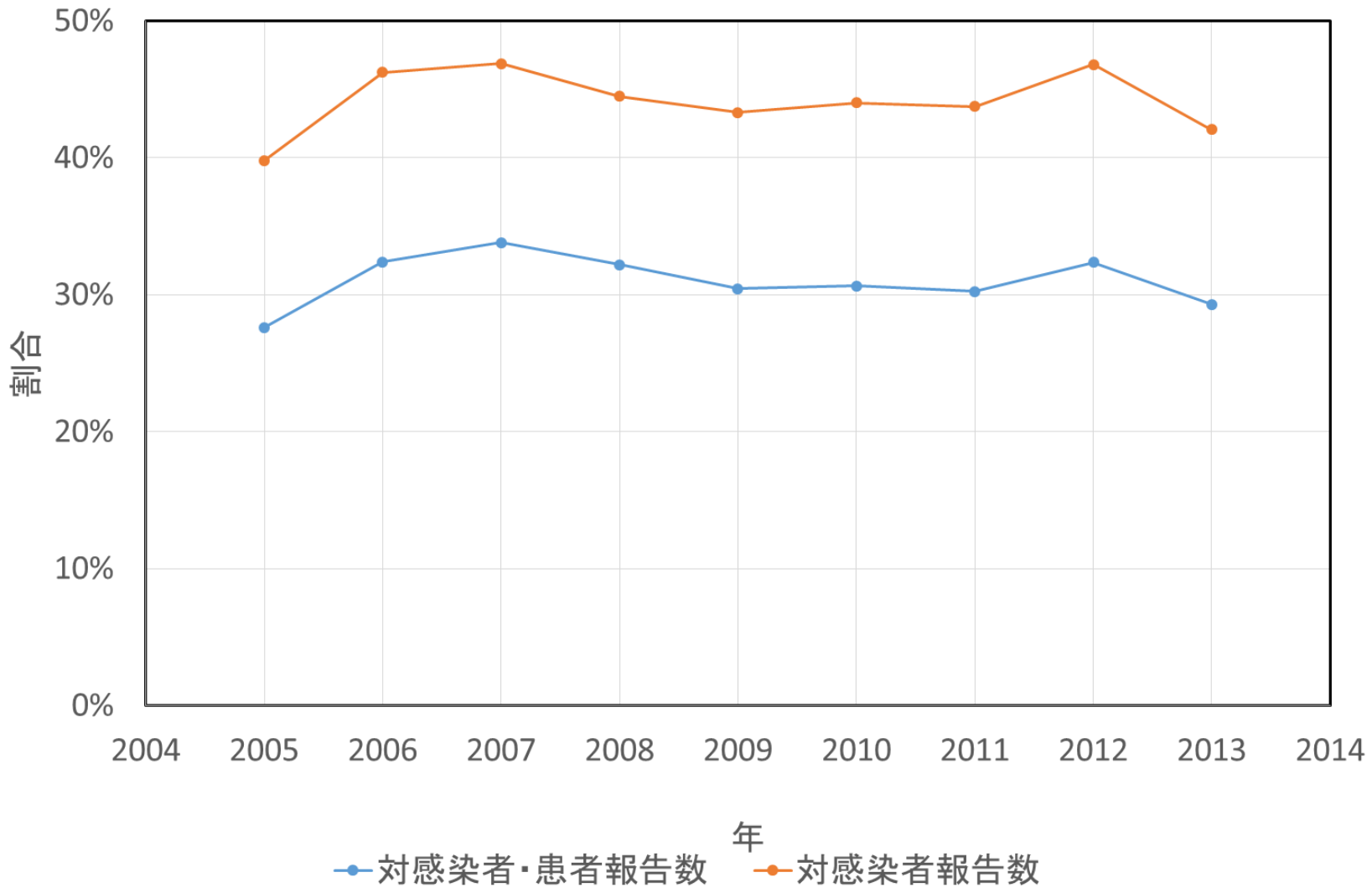
ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」調べ

HIV感染者報告数、新規エイズ患者報告数及び保健所等でのHIV抗体陽性件数の推移



エイズ動向委員会報告より作成

HIV感染者報告数及び新規エイズ患者報告数に対する保健所等でのHIV抗体陽性件数の割合の推移



エイズ動向委員会報告より作成

都道府県ごとのHIV感染拡大の状況

都道府県名	エイズ患者数増加率（2008-12/2003-7）
広島県	2.42
岐阜県	2.16
大阪府	**2.12**
福岡県	**1.96**
沖縄県	**1.94**
熊本県	1.92
愛知県	**1.76**
岡山県	1.74
宮城県	1.33
兵庫県	**1.32**
京都府	1.17
奈良県	1.14
北海道	1.13
栃木県	1.05
千葉県	**1.00**
東京都	**0.99**
群馬県	0.94
神奈川県	**0.90**
静岡県	0.85
埼玉県	**0.80**
三重県	0.60
茨城県	0.53
長野県	0.46
全国平均	1.18

- 有病率を過去10年間の10万人あたりのエイズ患者とHIV感染者の報告数の和で推定し、その有病率が23位までの都道府県について左表に示す。

- HIV感染拡大率は自治体により大きく異なる。
- 西日本でHIV感染が拡大。
- HIV感染拡大率は、有病率、10万人あたりの検査数、検査数の増加率のどれとも有意な相関がなかった。
- 地域のHIV流行期に合わせて検査体制の充実が図ることが必要。

エイズ動向委員会報告より作成

保健所等におけるHIV検査体制に関する全国調査の結果

（2014年2月19日）

保健所アンケート　回答数（2014. 2/19現在）　493/ 579箇所（85%）

2013年にHIV検査を実施した保健所　493/ 493箇所（100%）

2013年に陽性結果のあった保健所　113/ 493箇所（23%）

陽性件数　240/ 93, 408（ 陽性率 0.26% ）

陽性結果を伝えられた件数→　224/ 240（93%）

受診したことを把握できた件数→　185/ 240（77%）

（陰性結果を伝えられた件数 → 91,364/93,408（98%）

平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

保健所等におけるHIV検査体制に関する全国調査の結果

（2014年2月19日）

特設検査機関アンケート　回答数（2014.2.19現在）18/ 23箇所（78%）

2013年にHIV陽性結果のあった特設検査機関　15/ 18箇所

陽性件数　142/ 23318（ 陽性率 0.61%）

陽性結果を伝えられた件数→　132/ 142（93%）

受診したことを把握できた件数→　112/ 142（79%）

（陰性結果を伝えられた件数→　22,737/ 23,318（98%）

平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

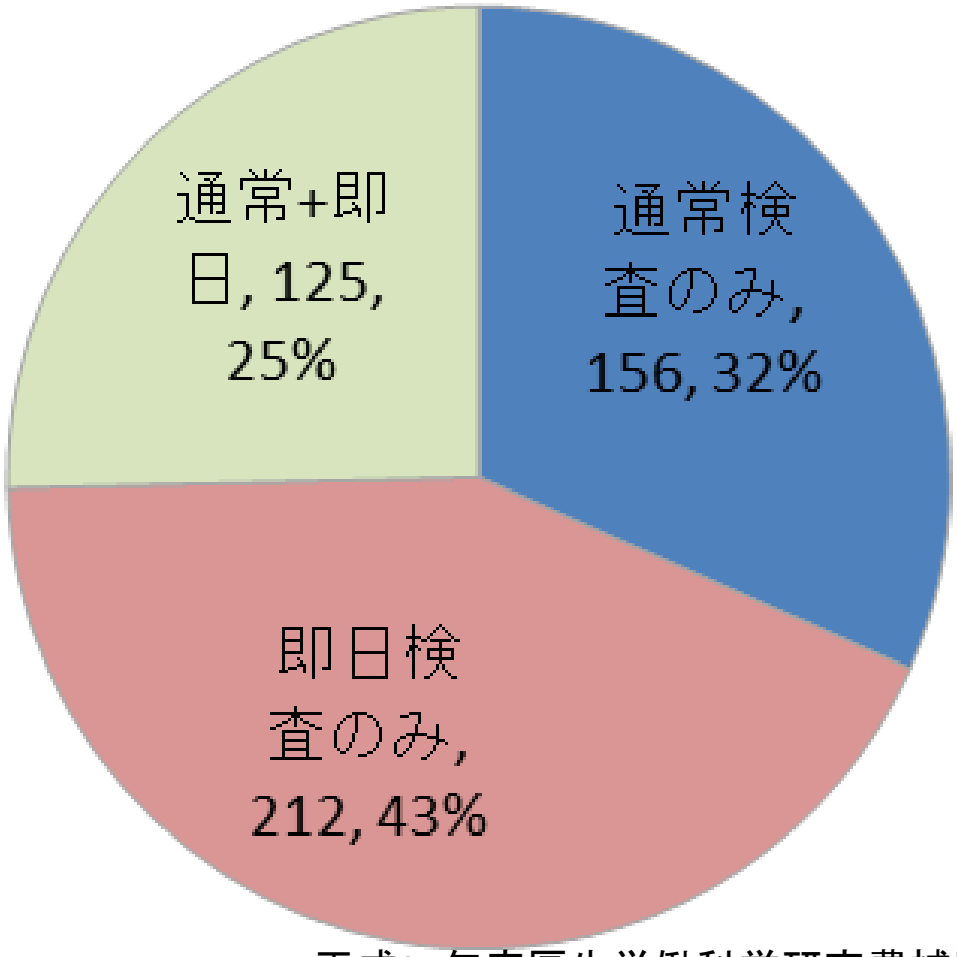
保健所と特設検査相談施設におけるHIV検査数・陽性数

	H24年HIV検査アンケート集計数				1施設あたり数	
	陽性数	検査数	陽性率	施設数	陽性数	検査数
保健所	217	85540	0.25%	480（560，82%）	0.45	178
特設検査施設	154	26926	0.57%	21（25，84%）	7.3	1282
特設/保健所	71%	31%	2.3倍	4.4%	16倍	7.2倍

（2013年）

保健所HIV検査
― 即日検査と通常検査 ―

（493件中）

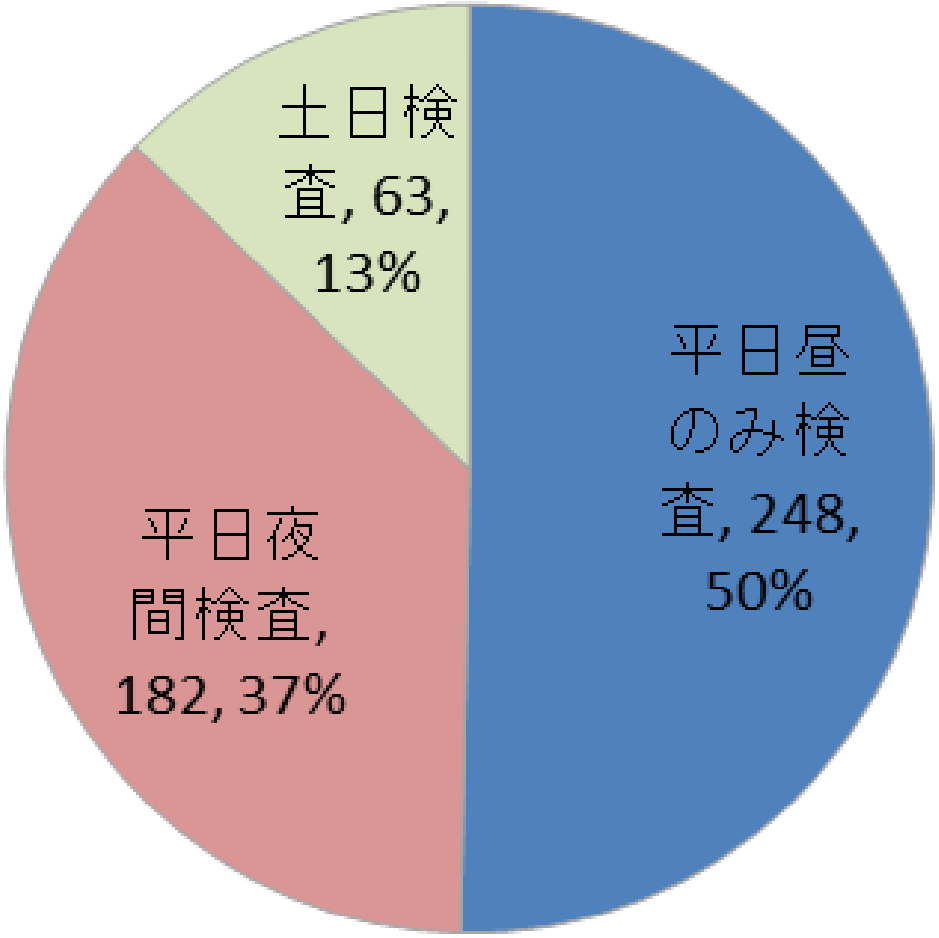


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

保健所HIV検査
― 平日、夜間、土曜・日曜 ―

（2013年）

（493件中）

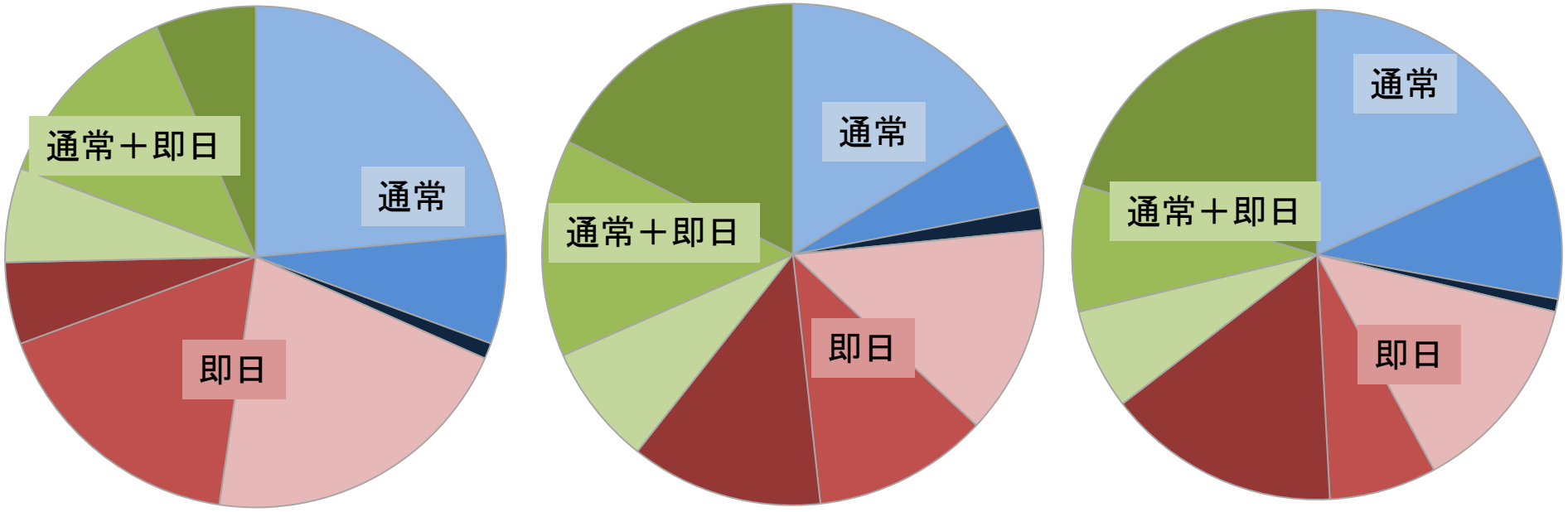


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

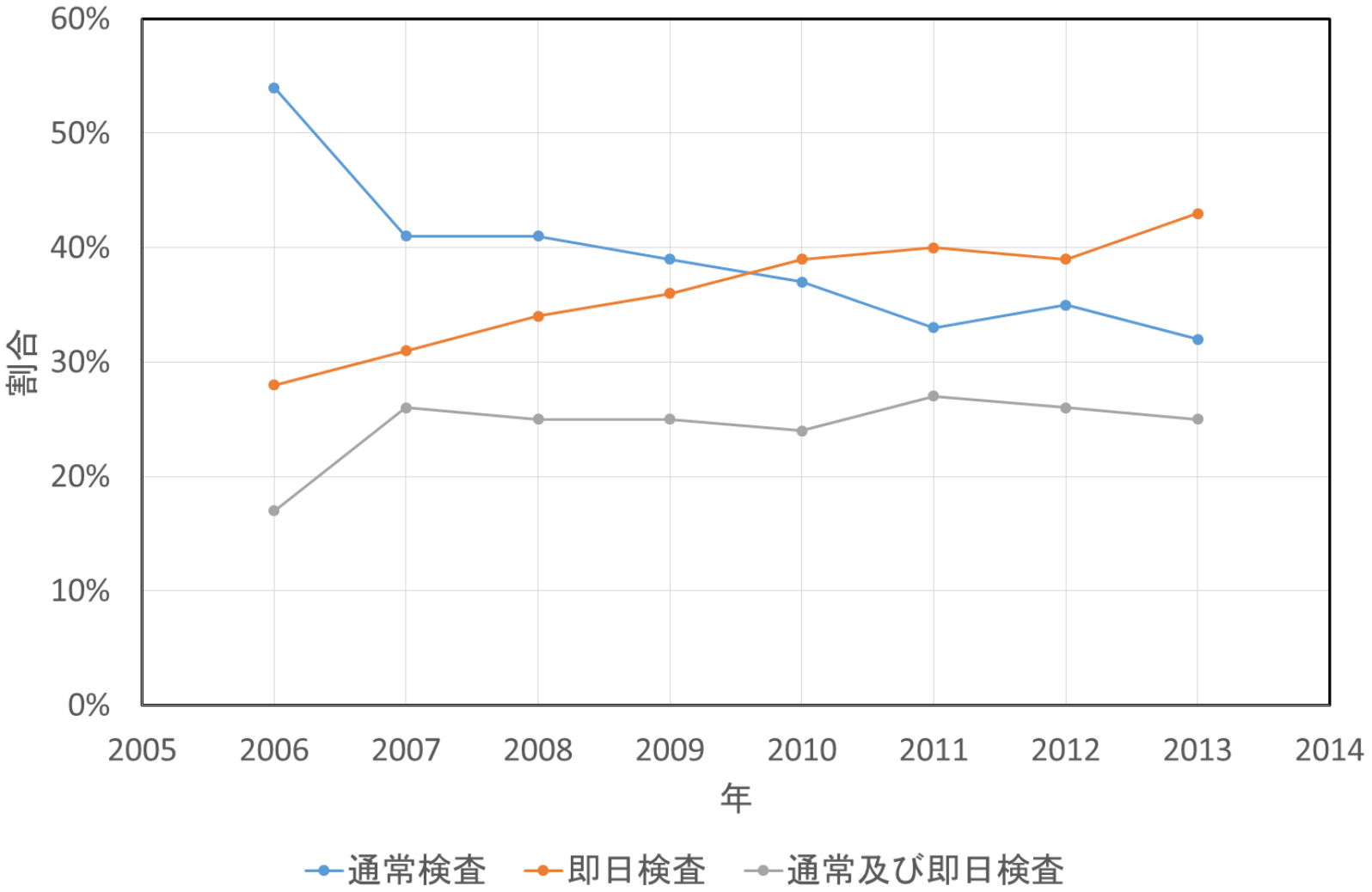
各種HIV検査の実施状況

【保健所数の割合】　【受験者数%】　【陽性者数%】



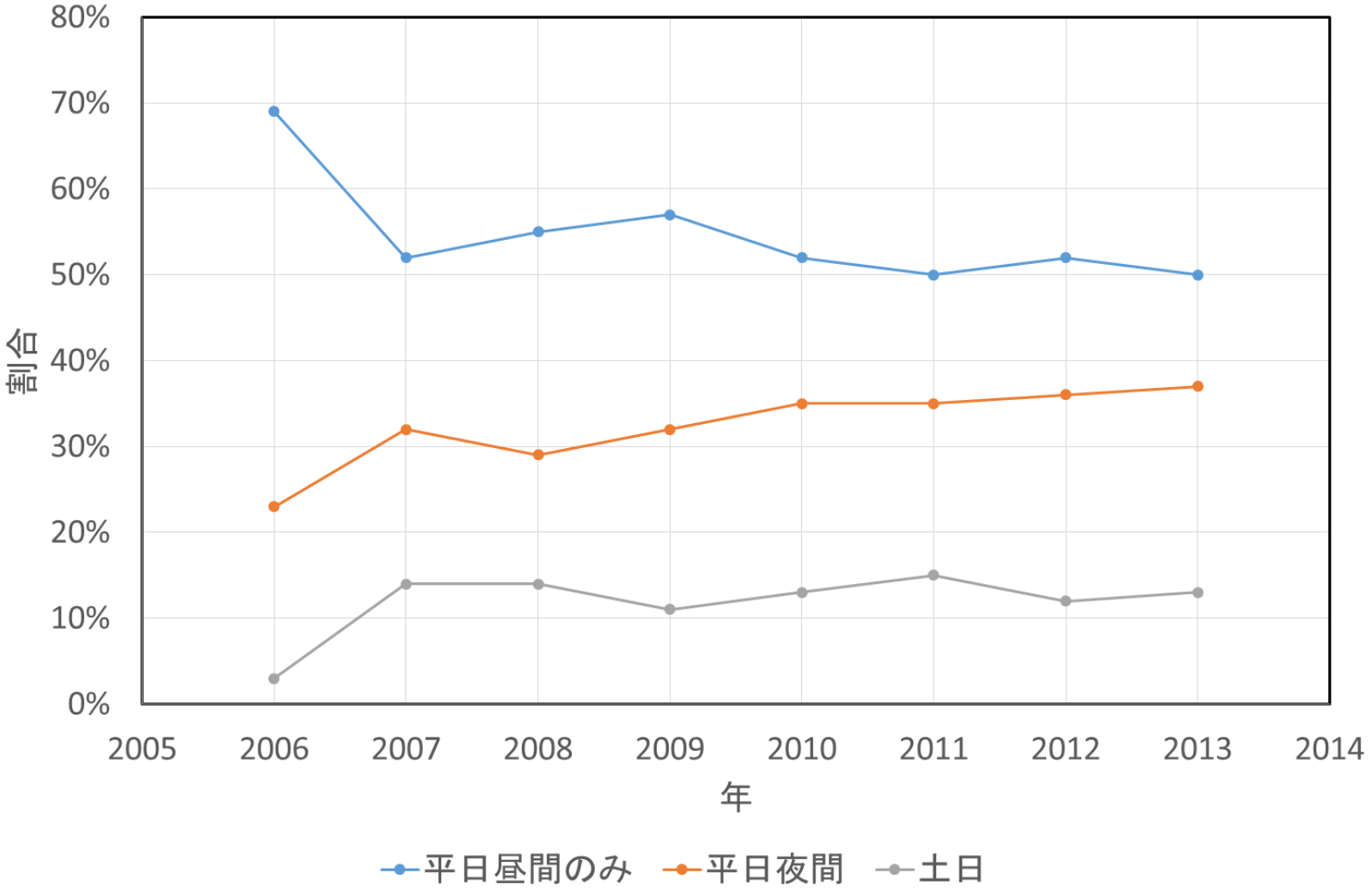
平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

保健所等におけるHIV検査の形態の推移（1）



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

保健所等におけるHIV検査の形態の推移（2）

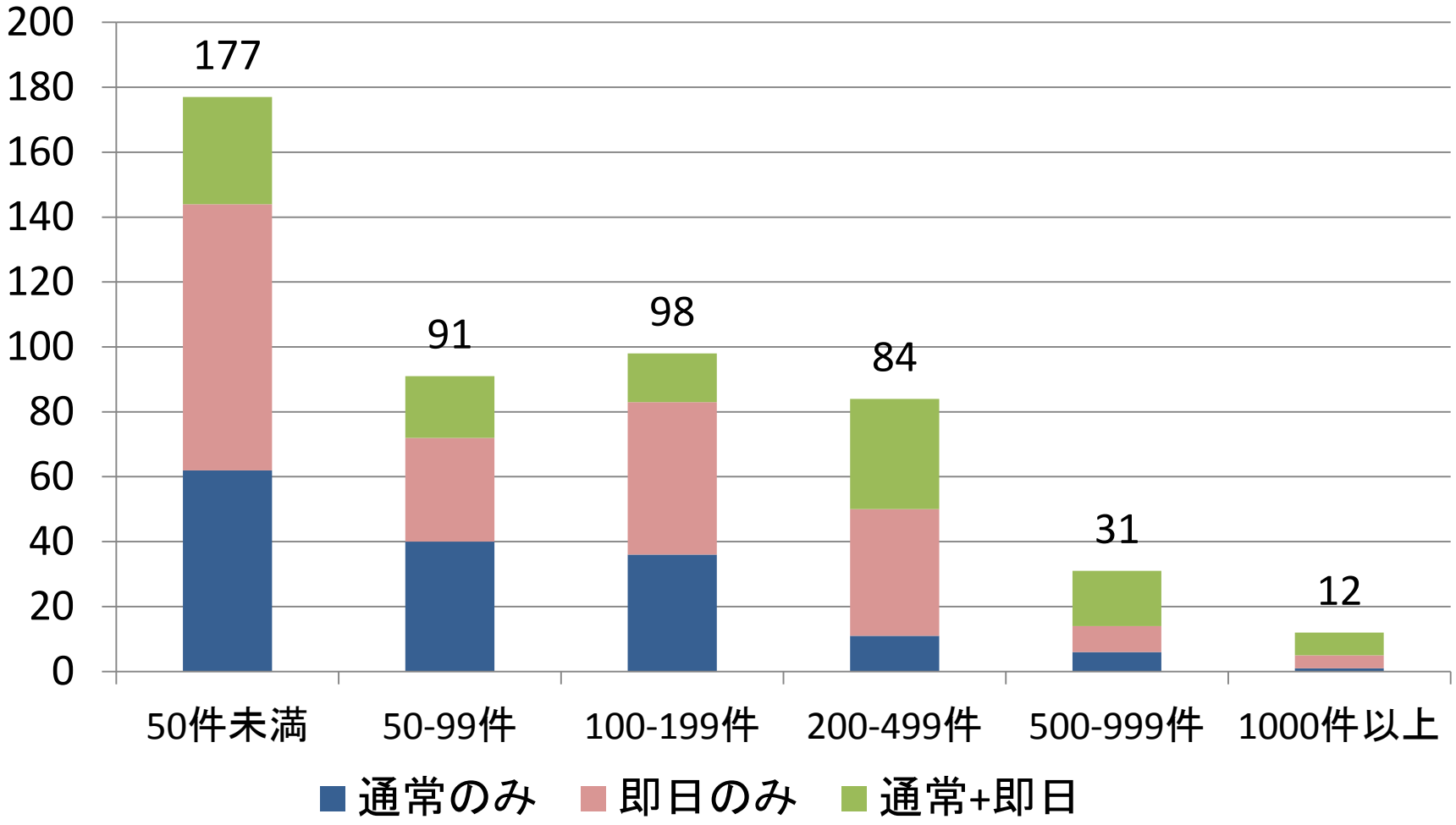


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

年間検査件数別の保健所数

（493件中）



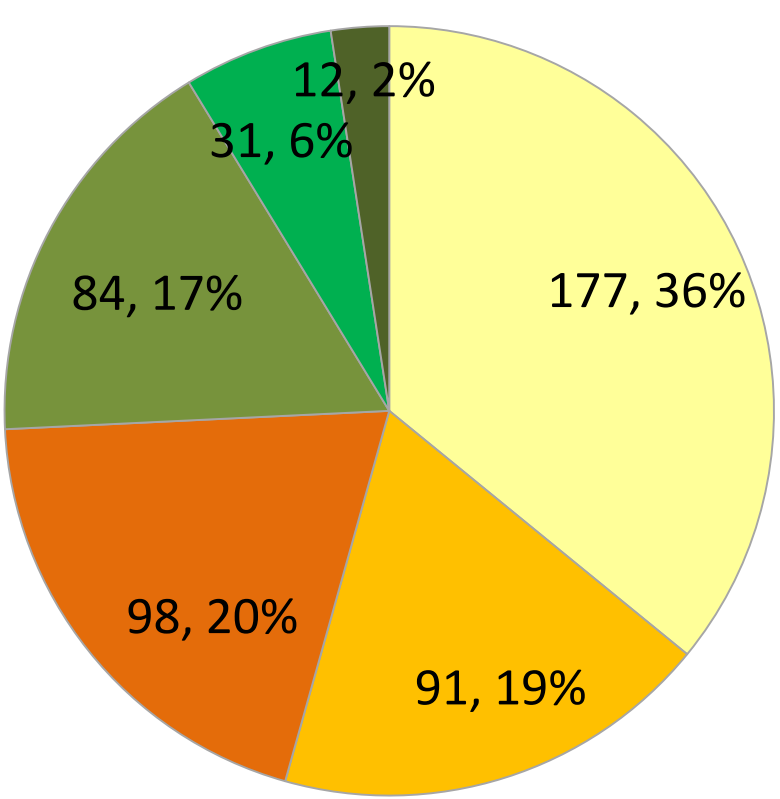
平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

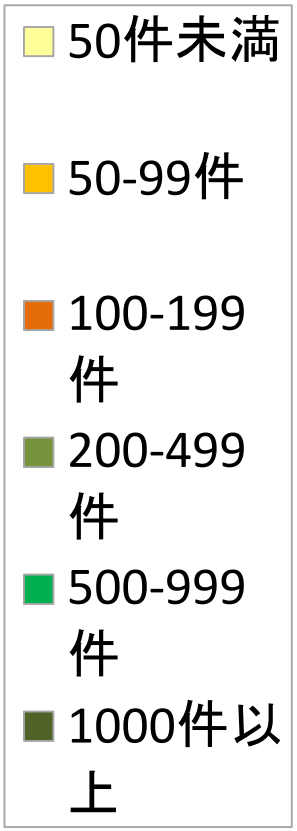
図13

（2013年）

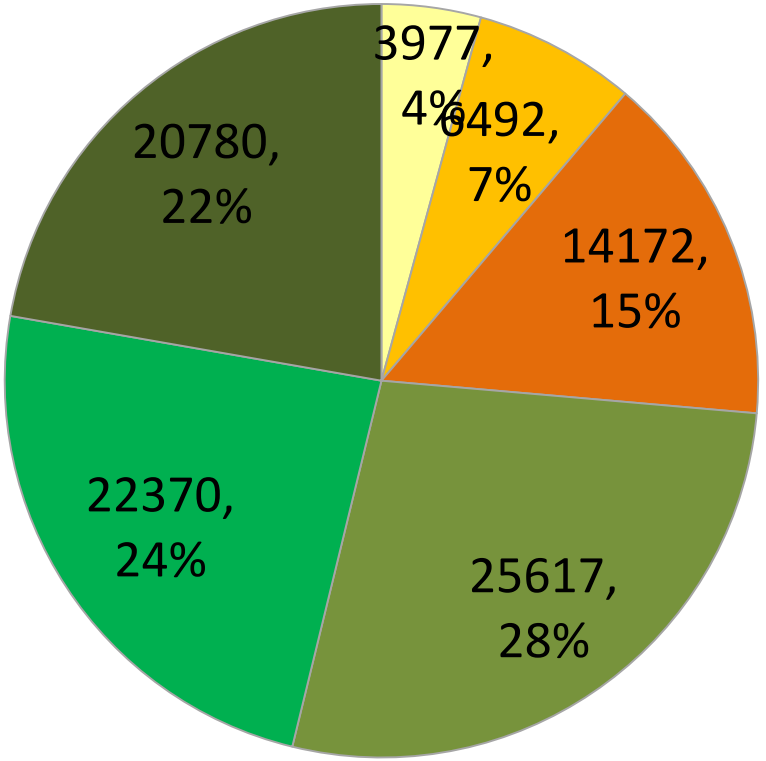
年間検査件数別の保健所数と検査数の割合

【保健所数】





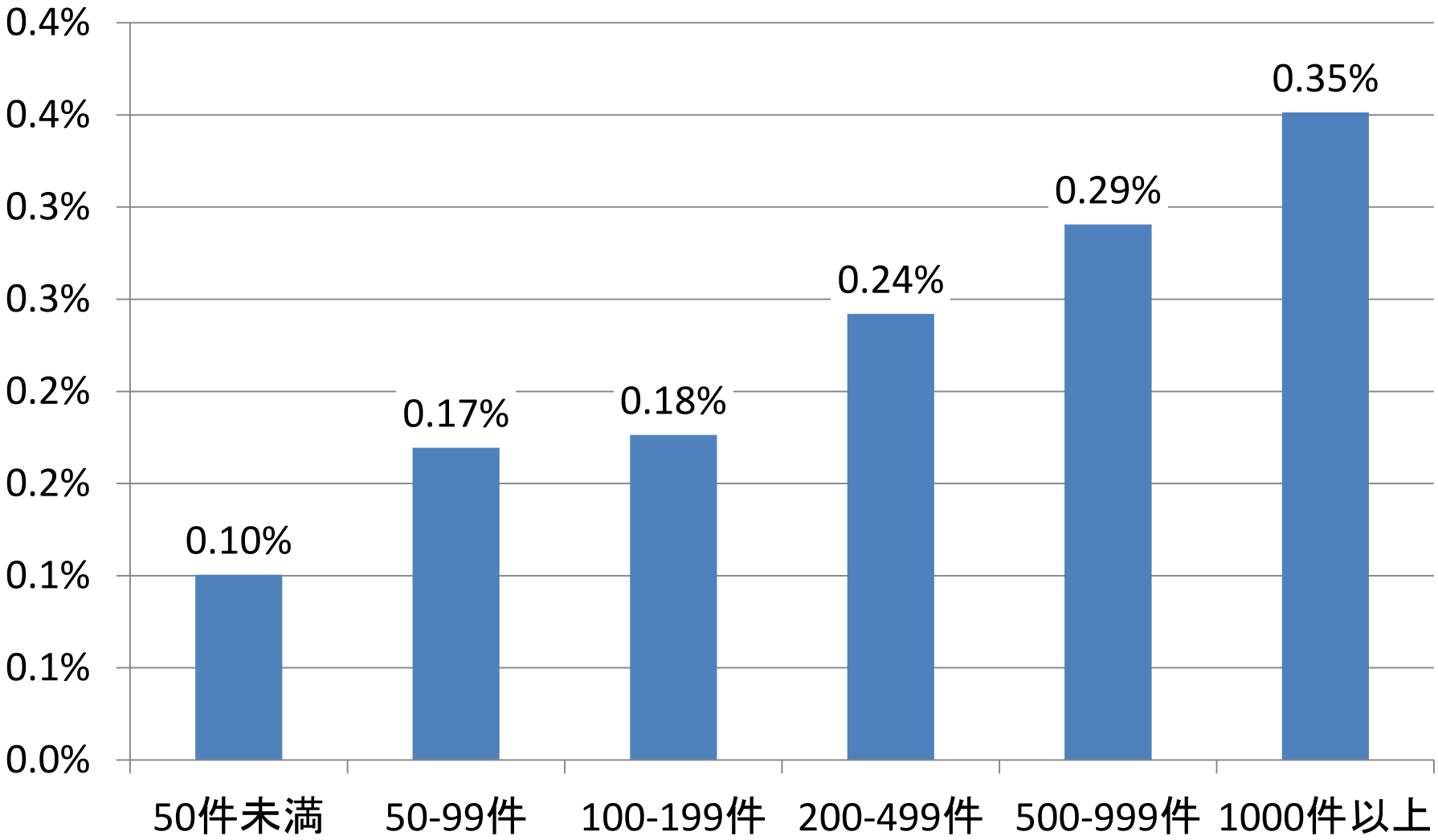
【検査人数】



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

年間検査件数別の陽性率

（2013年）

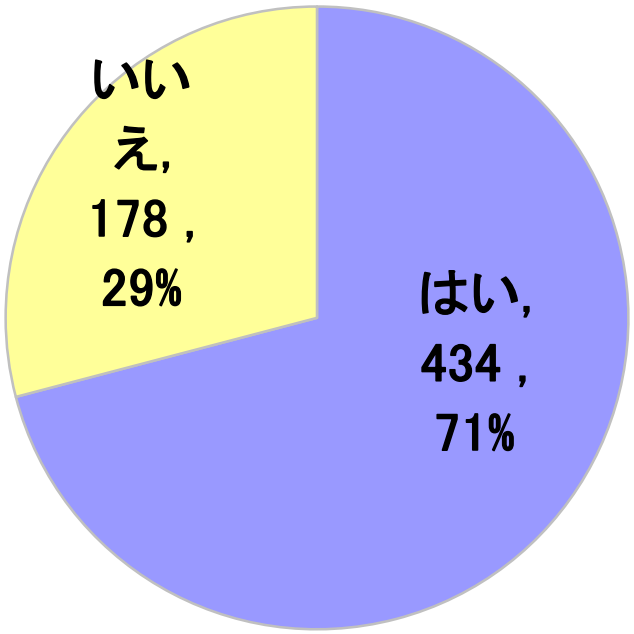


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

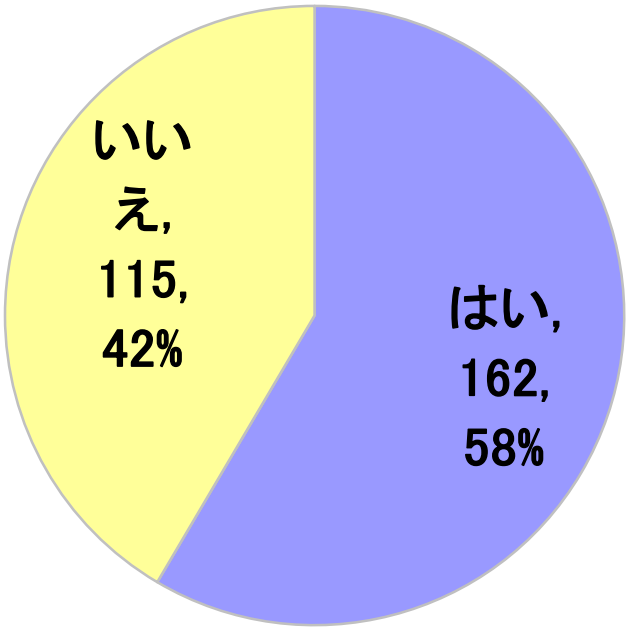
（2013年）

HIV検査が予約制か否か

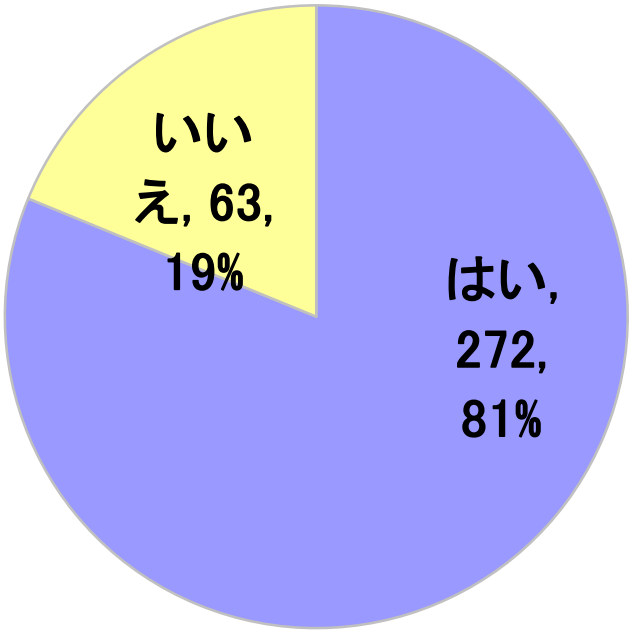
（全体）



（通常検査）



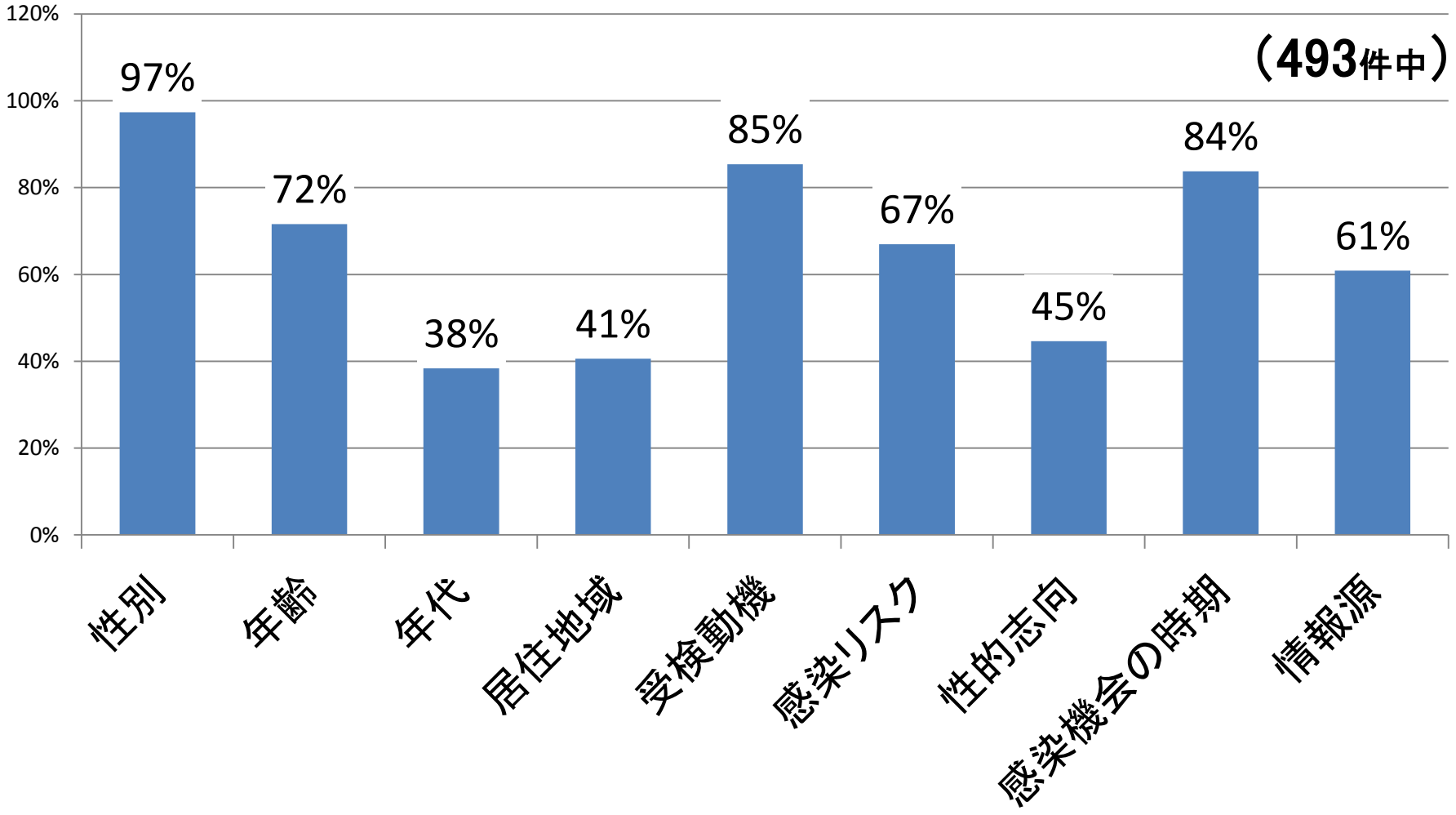
（即日検査）



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

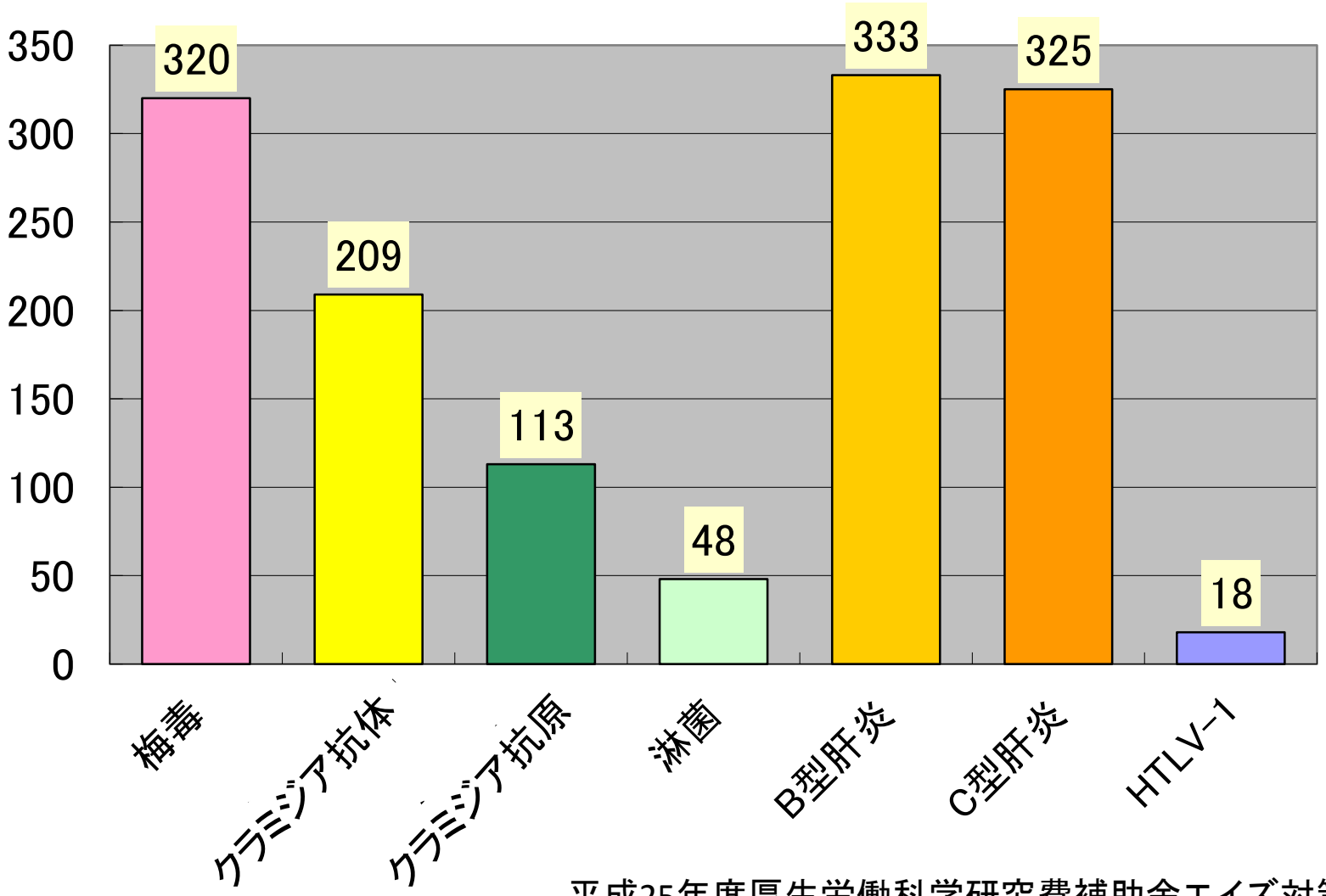
受検者について把握している内容



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

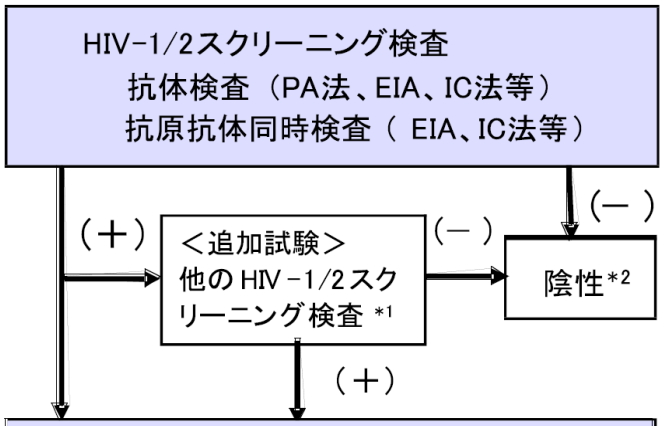
（2013年）

HIV以外の性感染症検査を行っているか



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

HIV-1検査実施フローチャート



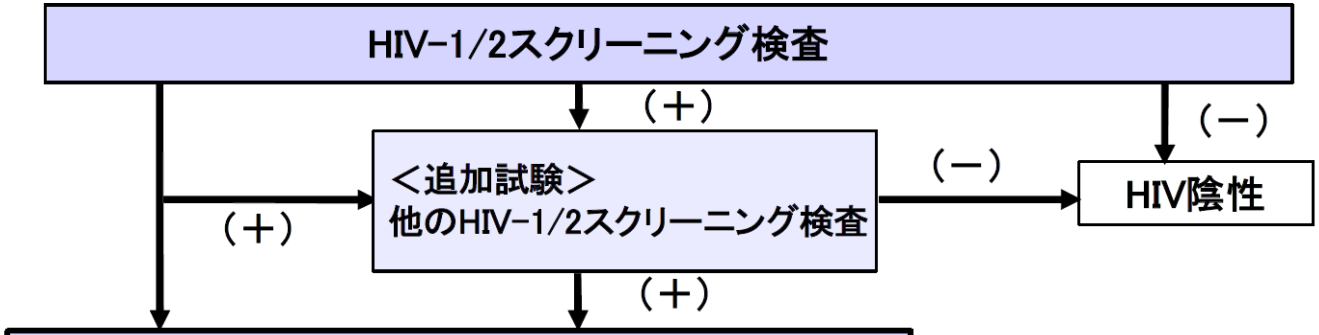
HIV確認検査

WB法	核酸増幅検査	判定
＋	（＋，－）	感染
±	＋	感染
	－	陰性*3
－	＋	感染*4
	－	陰性*2

*1　一回目のスクリーニング検査 より感度の高い検査法を使用する。
*2　感染初期の可能性が考えられる場合は、数週間後に採血し、再検査を実施する。
*3　感染の疑いがある場合は、数週間後に採血し、再検査を実施する。
*4　WB法が陽性となるまでフォローアップすることが望ましい。

感染症研究所
病原体検査マニュアル

HIV-1/2検査実施フローチャート



HIV 確認検査		
HIV-1陰性	HIV-2 WB	判　定
	－	HIV-1/2陰性
	＋	HIV-2感染
	± *1	HIV-1/2鑑別検査へ
HIV-1陽性	HIV-2 WB	判　定
	－	HIV-1感染
	＋ *2	HIV-1/2鑑別検査へ
	± *1*2	

HIV-1/2鑑別検査*3		
HIV-2	－	HIV-2陰性
	＋ *1*2	2週間以上経過後、再検査

*1　HIV-2の感染初期が疑われる場合は、2週間以上経過後、再検査を行う。

*2　HIV-1陽性の場合、交差反応によってHIV-2陽性または保留となることがあるので、注意を要する。可能ならHIV-2遺伝子検査を行う。

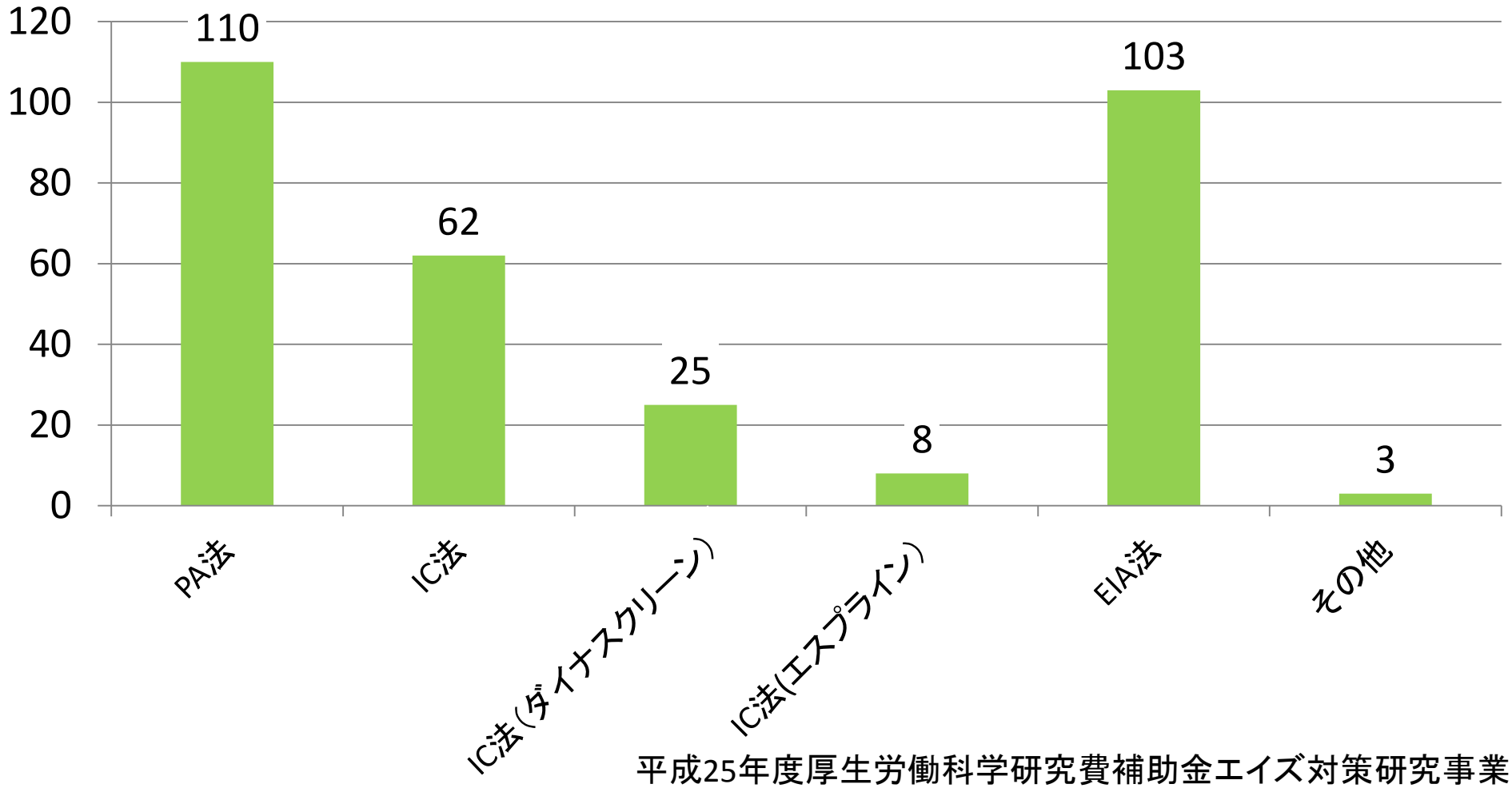
*3　HIV-1/2鑑別検査を確認検査の前に実施することも可能。鑑別検査でHIV-2陰性の場合は、HIV-2の感染は否定できる。

感染症研究所
病原体検査マニュアル

（2013年）

保健所HIV検査
【スクリーニング検査の方法は？】

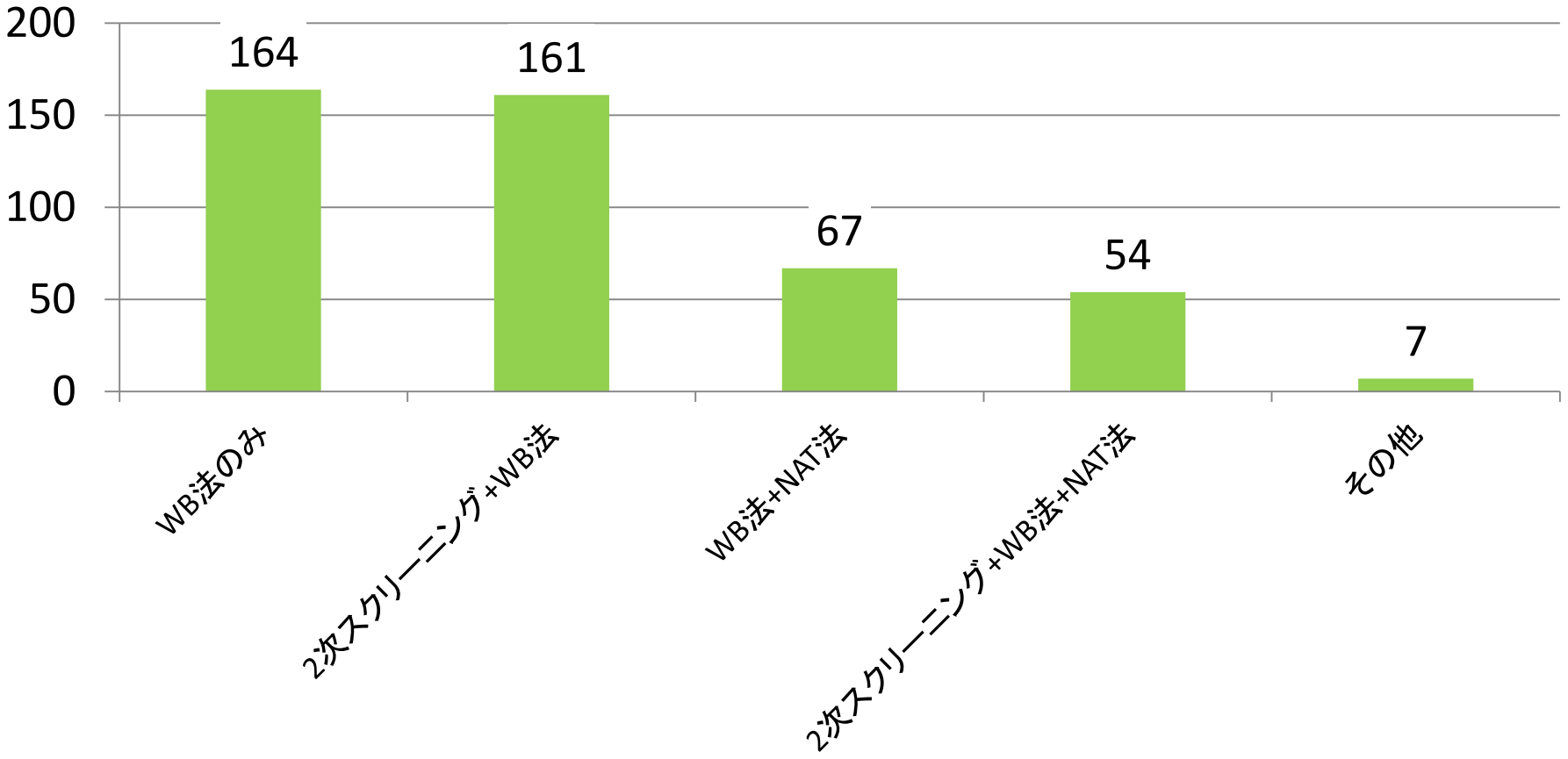
（通常検査）



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

確認検査の方法は？
（通常、即日共通）

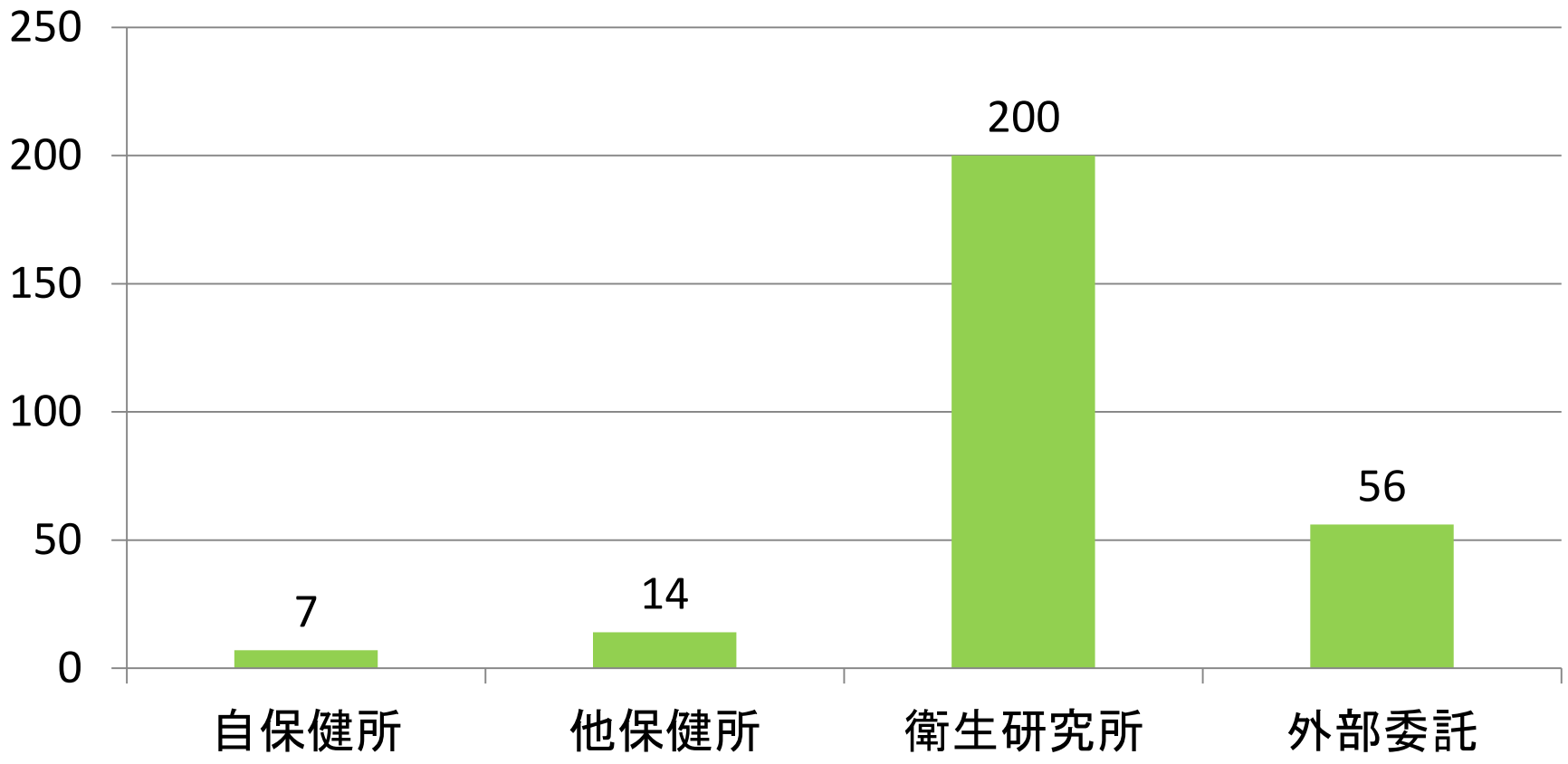


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

保健所HIV検査
【確認検査の実施施設は？】

（通常検査）

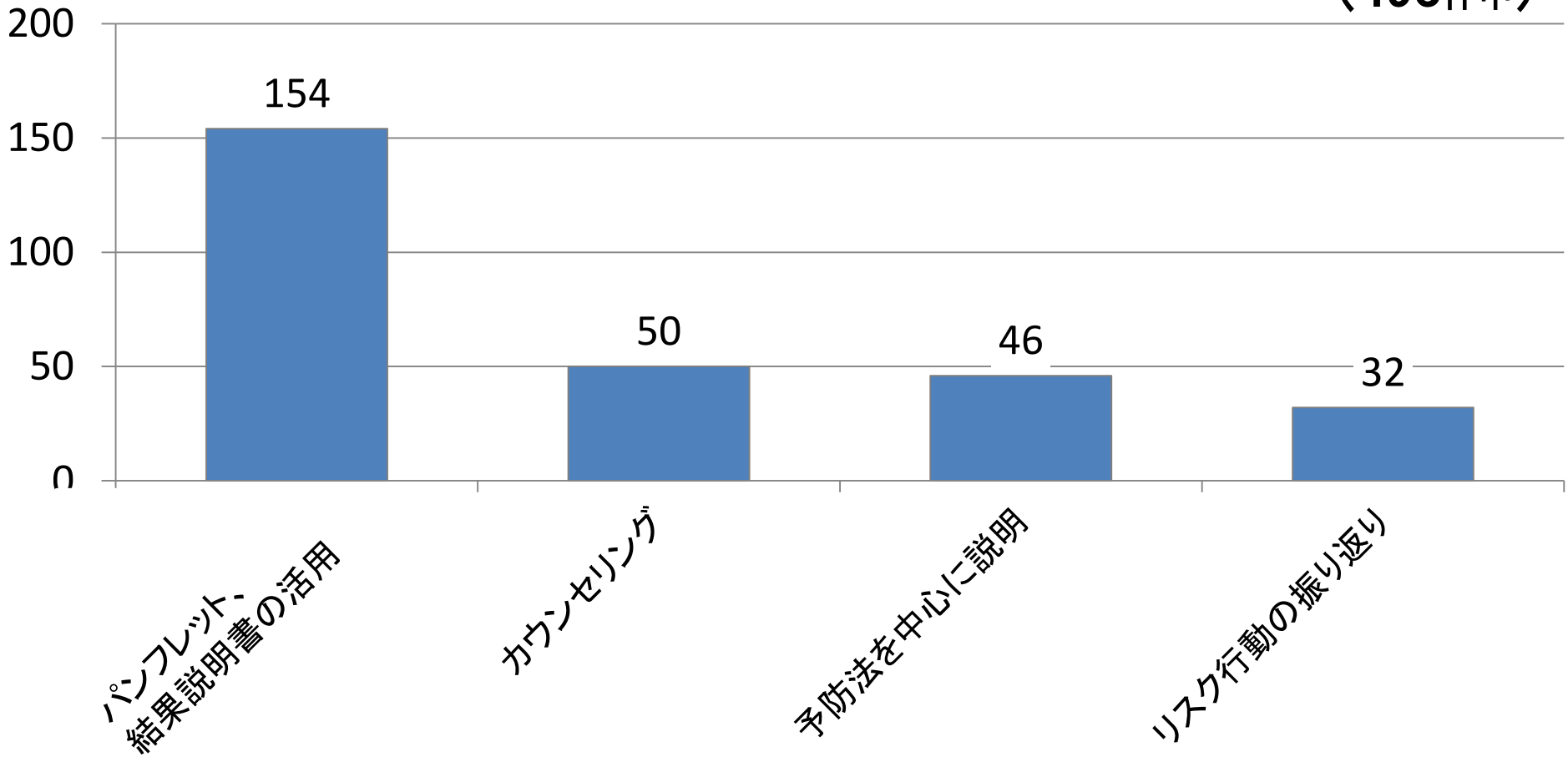


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

感染予防のための行動変容を働きかける相談の具体的手法は

（493件中）

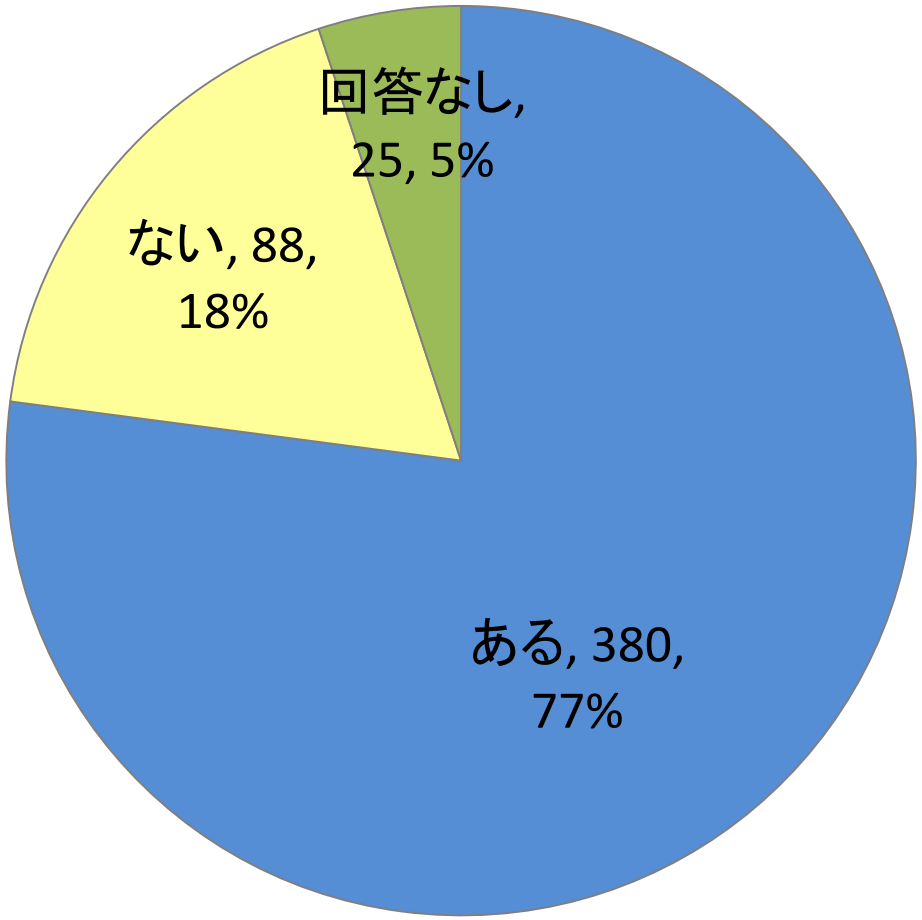


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

陽性者への説明事項
説明資料はあるか

（493件中）

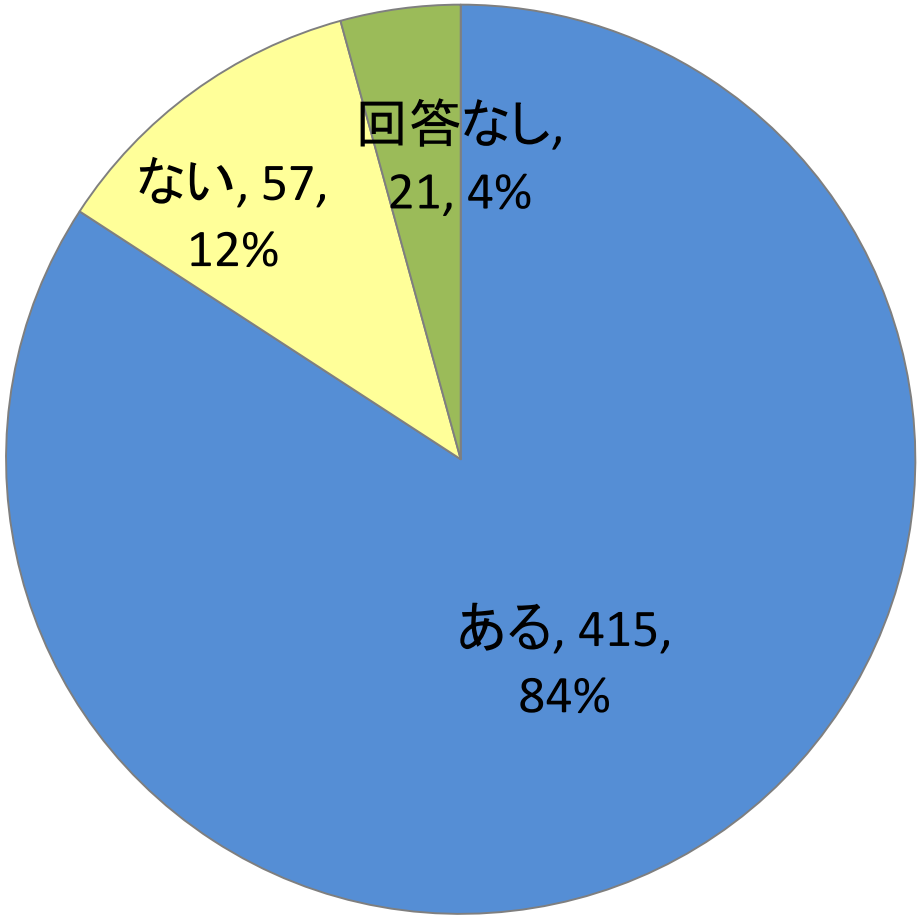


平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

（2013年）

陽性者への手渡し資料はあるか

（493件中）



平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

修正・追加箇所（2013年）

外国語での電話相談窓口リスト作成（8か国語）

<PORTUGUÊS> Consulta por telefone
Para consultas sobre HIV/AIDS, entrar em contato com Centros de Atendimento abaixo relacionados.

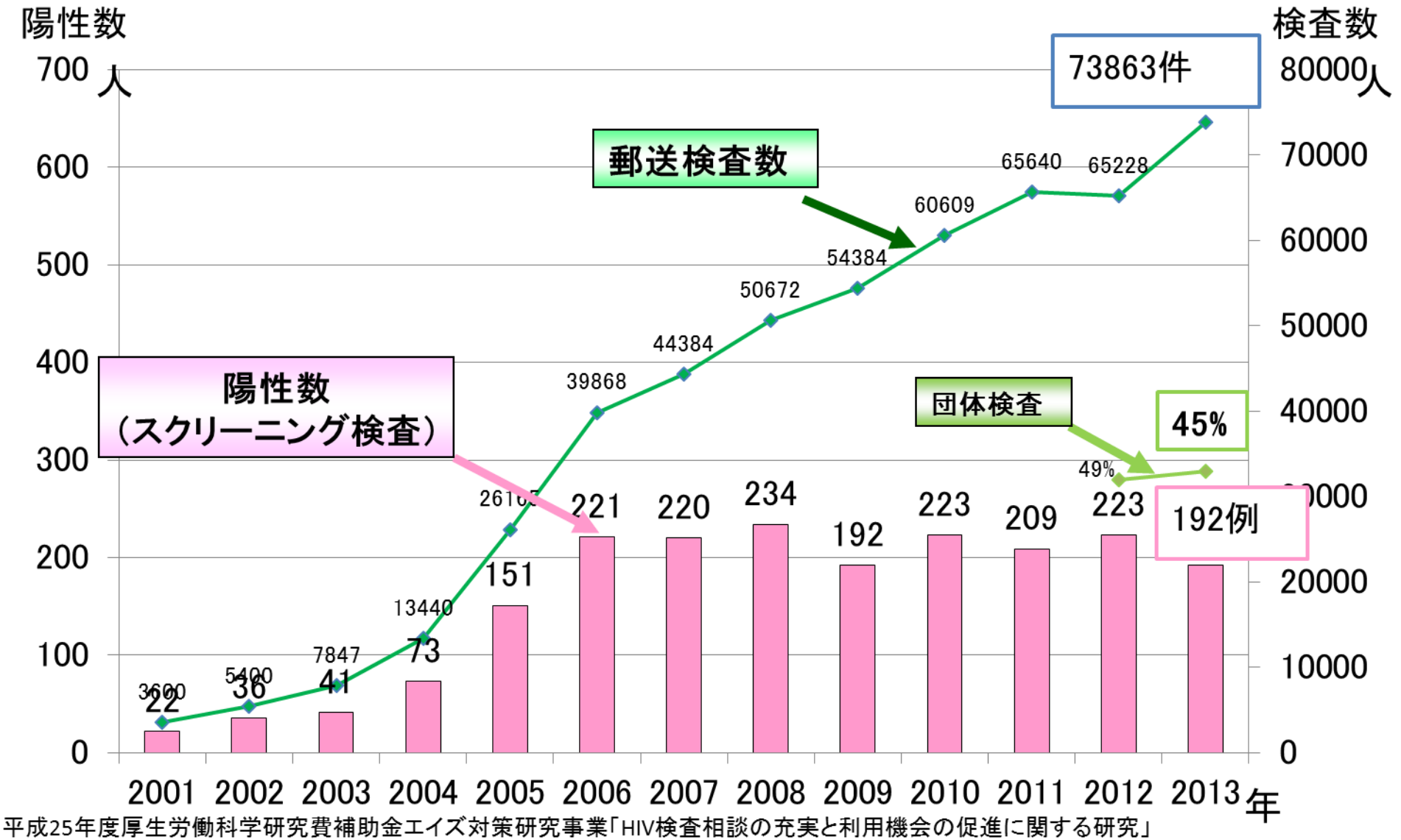
Dia	Horário	Telefone	Centros de Atendimento
2ºF,4ºF,6ºF	9:00 - 17:00	03-5285-8088	AMDA -Centro Internacional de Informação Médica de Tokio
2ºF、4ºF	10:00 - 17:00	050-6864-6601	CRIATIVOS（português, espanhol）
2ºF	10:30 - 14:30	06-4395-0555	AMDA-Centro Internacional de Informação Médica
3ºF	16:00 - 20:00	06-6354-5901	CHARM（espanhol,português,inglês）

<中国语> 电话咨询
有关HIV/艾滋病，请打电话向以下电话咨询窗口咨询：

咨询日	时间	电话号码	团体名称
每天	9:00 - 20:00	03-5285-8088	AMDA国际医疗情报中心东京（英语・泰语・中国语・韩国语・西班牙语）
每周二	10:00 - 13:00	06-4395-0555	AMDA国际医疗情报中心关西（中国语）
每周三	13:00 - 16:00	06-4395-0555	AMDA国际医疗情报中心关西（中国语）

HIV郵送検査の動向

検査数とスクリーニング検査陽性数の推移（2001-2013）



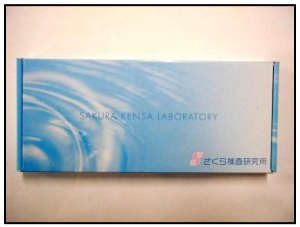
平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

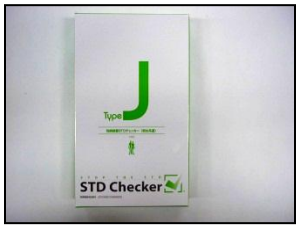
郵送検査の流れ(2013)

キットの
購入・申込
本人

平均 4512円
(2500～7950円)

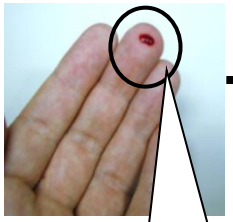
インターネット
電話
FAX
薬局
店頭
郵便

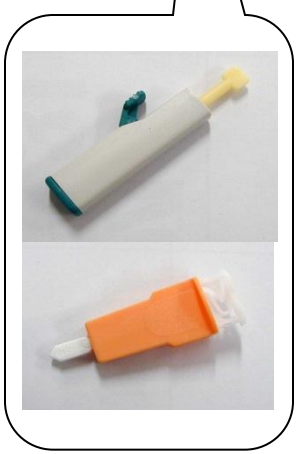




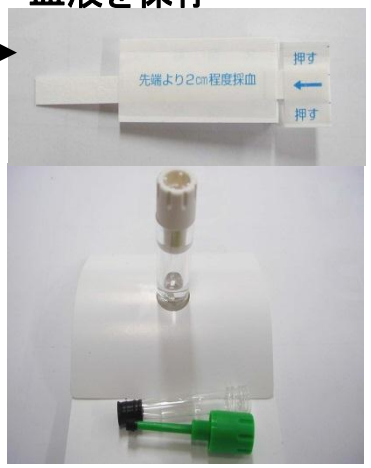
キット到着後
検体採取
本人

ランセットで
指先穿刺





ろ紙・専用採血管に
血液を保存



検体を使用済器具と
一緒に封筒に入れる

郵便・宅急便
で検査会社へ送付

検査と
結果の送付
会社

PA,IC,EIA(CLEIA)
等で検査

郵送
E-mail
ホームページ

結果受取
本人

平均5日
(1～14日)

保存方法	
ろ紙	6社
専用容器	4社
検査法	
PA	5社
イムノクロマト	2社
EIA	1社
CLEIA	1社

平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

日本とアメリカにおける郵送検査の比較

日本　個別に認可・承認・登録

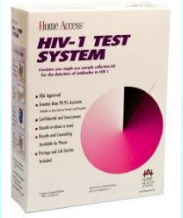
- **郵送検査会社**（会社登録）
- **検査説明・検査相談**
- **採血器具**（医療機器 承認）
- **検査キット**（体外診断薬 認可）
- **検査機関**（衛生検査所、医療機関 登録）
- **検査結果通知フォローアップ**

アメリカ　総合して認可

郵送検査システム

- 電話による24時間体制の相談窓口
- 音声による検査説明、必要に応じてカウンセラーによる相談
- 電話を用いた音声による結果報告、陽性の場合医療専門家によるフォローアップ

Home Access HIV-1 Test System
(Home Access Health Corporation)



→ 検査精度管理、検査説明・相談、フォローアップ等を含む郵送検査に関する標準化が必要か?

平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」

郵送検査のメリット・デメリット

- メリット
  - 他人と対面することなく受検できる
  - いつでもどこでも受検できる
  - 医療機関への受診につながっている
- デメリット
  - 国が認めた検査キットではない
  - 検査に関する知識を正しく理解できない可能性
  - 精神的ケアを十分に行えない可能性
  - 医療機関につながったかの確認が困難
  - 郵送検査はスクリーニング検査である、確認検査が必要
  - 公的な精度管理が実施されていない

平成25年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」